



**コンビニ等で取得する
各種行政証明書の発行
手数料を引き下げ**

個人番号カード（マイナンバーカード）の普及率・利便性の向上、本庁・総合支所関係窓口の混雑の緩和を図るため、全国のコンビニエンスストア等に設置する端末機で各種行政証明書を取得した場合、インセンティブとして、4月1日以降手数料を引き下げます。

Q 全国のコンビニエンスストア等に設置する端末機で各種行政証明書を取得した場合、300円の手料を200円に下げることであるが、その場合コンビニに委託する手数料はいくらか。また、市役所の発行機で取得する場合も200円の手料となるのか。

A コンビニに委託する場合、J-LEISという国の機関に支払う額が117円となる。また、来年2月には本庁各総合支所で発行機を4台設置する予定としており、窓口で各種行政証明書を取得すれば手数料は300円であるが、本条例施行の4月1日以降は、マイナンバーカードを使い、窓口の前に設置してある発行機で取得すれば200円となる。

●令和2年第6回定例会 全員一致で可決等した議案

議案等の名称		議案の説明
同意	たつの市農業委員会委員任命の同意を求めることについて（第21号～第39号）	5ページのとおり
	人権擁護委員候補者推薦の意見を求めることについて（第40号～第43号）	
市長提出議案	たつの市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について	人事院勧告を受けて国の給与制度が改正されたため、同様の制度とするため所要の改正を行うもの。
	たつの市手数料条例の一部を改正する条例制定について	上記のとおり
	地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について	「地方税法等の一部を改正する法律」により、地方税において延滞金の割合等の見直しがあったため、延滞金の割合の特例を地方税と同様に規定している「たつの市下水道事業受益者負担金徴収条例」、「たつの市介護保険条例」及び「たつの市後期高齢者医療に関する条例」について、所要の改正を行うもの。
	たつの市国民健康保険条例及びたつの市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定について	国民健康保険被保険者等に対する傷病手当金の支給について、適用期間を令和2年1月1日から同年12月31日としていたものを、令和3年3月31日まで延長するもの。
	たつの市企業立地促進条例及びたつの市企業立地等を重点的に促進すべき区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定について	地域企業に対し、各自治体が実施する税制優遇処置などの取組を支援する「地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律」が改正されたため、所要の改正を行うもの。
	令和2年度たつの市一般会計補正予算（第8号） 令和2年度たつの市学校給食センター事業特別会計補正予算（第3号） 令和2年度たつの市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） 令和2年度たつの市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号） 令和2年度たつの市介護保険事業特別会計補正予算（第2号） 令和2年度たつの市水道事業特別会計補正予算（第1号）	4ページのとおり
その他	指定管理者の指定について（たつの市福祉会館外21施設）	5ページのとおり
委員会提出	激甚化する自然災害への対応と地域の安全・安心を確保するための社会資本整備の更なる推進を求める意見書の提出について	5ページのとおり

●令和2年第6回定例会 賛否が分かれた議案

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
議員名	楠 明廣	船引宗俊	堀 讓	宗實雅典	肥塚康子	木南裕樹	柏原 要	野本利明	松本良三	赤木和雄	和田美奈	高岸博之	松下信一郎	内匠勇人	柳生陽一	桑野元澄	三木浩一	永富 靖	角田 勝	名村嘉洋	畑山剛一	横田 勉
件名	「核兵器禁止条約」への日本政府の署名と批准を求める意見書採択の要請について																					
議決結果	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	○	×	×	×	×	×	×	×

●議決結果欄の意味は次のとおり 可 可決 否 否決 ●採決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり 賛成 反対 議 議長のため、表決には加わりません。

賛成討論

核兵器は非人道的兵器である。核兵器を違法なものと定めた条約が国連で採択された。この採択に尽力した団体が、ノーベル平和賞を受賞し、世界は「核なき世界」に向けて確実に進んでいる。「非核平和都市宣言」のたつの市とし、賛同を願う。

反対討論

政治の使命は「国民の生命と財産を守ること」。日本はアメリカの核の傘で守られている。その傘を自ら捨てて日本の安全が確保できるのか。理想だけでは、この国の安全と平和を守れないことから反対である。